

1 相談件数の同期比較

区分	前年度	今年度	対前年同期比
相談件数	335	453	135.2%
無言電話	60	30	50.0%
計	395	483	122.3%

2 相談の形態

	4月末現在	5～8月	8月末現在	対前年同期比	
				割合	対前年同期比
相談	81	372	453	93.8%	135.2%
電話	72	349	421	87.2%	134.1%
メール・手紙	8	20	28	5.8%	133.3%
面接調査	1	3	4	0.8%	—
無言電話	5	25	30	6.2%	50.0%
計	86	397	483	100.0%	122.3%

3 連携等の件数

区分	相談件数	割合
関係機関連絡	23	5.1%
通告	3	0.7%
関係機関紹介	32	7.1%
助言	326	72.0%
その他	69	15.2%
計	453	100.0%

【関係機関連絡・通告の内訳】

児童相談所	3件
県教育委員会	2件
市町村	18件
その他	3件

4 月別相談件数

相談月	相談件数	割合	対前年度比
4月	81	17.9%	126.6%
5月	105	23.2%	150.0%
6月	98	21.6%	122.5%
7月	96	21.2%	147.7%
8月	73	16.1%	130.4%
9月	0	0.0%	0.0%
10月	0	0.0%	0.0%
11月	0	0.0%	0.0%
12月	0	0.0%	0.0%
1月	0	0.0%	0.0%
2月	0	0.0%	0.0%
3月	0	0.0%	0.0%
計	453	100.0%	135.2%

5 相談者（子ども）の男女別

性別	相談件数	割合
男	59	59.0%
女	29	29.0%
不明	12	12.0%
計	100	100.0%

6 相談の状況

(1) 主訴別（全体）

区分	4月末現在	5～8月	8月末現在	割合	対前年同期比
いじめ	1	11	12	2.6%	150.0%
体罰	0	3	3	0.7%	100.0%
虐待	0	4	4	0.9%	26.7%
不登校	1	16	17	3.8%	85.0%
学校関係	7	59	66	14.6%	122.2%
交友関係	4	19	23	5.1%	95.8%
思春期	8	33	41	9.1%	100.0%
家族	3	15	18	4.0%	112.5%
メディア関連	1	3	4	0.9%	400.0%
その他	11	134	145	32.0%	157.6%
子育て	45	75	120	26.5%	196.7%
計	81	372	453	100.0%	135.2%

昨年度同時期と比較し、いじめ、学校関係、子育てに関する相談等が増加。子育ての増加は、特定の保護者からの継続相談によるもの。メディア関連はゲームに関する相談。

(2) 主訴別（子どものみ）

区分	4月末現在	5～8月	8月末現在	割合	対前年同期比
いじめ	0	1	1	1.0%	50.0%
体罰	0	0	0	0.0%	0.0%
虐待	0	3	3	3.0%	50.0%
不登校	0	0	0	0.0%	—
学校関係	1	4	5	5.0%	83.3%
交友関係	3	13	16	16.0%	123.1%
思春期	4	31	35	35.0%	120.7%
家族	2	5	7	7.0%	175.0%
メディア関連	0	1	1	1.0%	100.0%
その他	3	29	32	32.0%	80.0%
計	13	87	100	100.0%	96.2%

昨年度同時期と比較し、交友関係、思春期、家族の相談が増加。その他にはいたずら電話の可能性の電話も含まれる。

(3) 相談者別

区分	4月末現在	5～8月	8月末現在	割合	対前年同期比
子ども本人	13	87	100	22.1%	96.2%
家族	61	256	317	70.0%	159.3%
関係者等	7	29	36	7.9%	112.5%
計	81	372	453	100.0%	135.2%

一昨年度より周知カードの配布対象を拡大した影響からか、子ども本人からの相談数がほぼ継続している。

7 相談対象者（子ども）の状況

区分	4月末現在	5～8月	8月末現在	割合	対前年同期比
幼児	0	0	0	0.0%	—
小学校低学年	1	4	5	5.0%	100.0%
小学校高学年	2	12	14	14.0%	127.3%
中学生	3	26	29	29.0%	90.6%
高校生	3	22	25	25.0%	54.3%
その他・不明	4	23	27	27.0%	270.0%
計	13	87	100	100.0%	96.2%

小学校低学年～高校生まで全体を通して相談件数が対前年度比で増加。高校生の減少は、継続相談者の卒業によるもの。